

令和4年度 第5回石狩市厚田区地域協議会 会議録

【日 時】 令和4年8月31日(水) 18:00~18:45

【場 所】 厚田総合センター2階 ホール

【出席者】 10人(15人中)

役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠
会長	渡邊 教円	○	委員	加藤 亞弓	○	委員	角野 亮太	×
副会長	東 幸子	○	委員	鎌田 憲一	○	委員	平賀 敏和	×
委員	石田 靖子	○	委員	小山 玲子	○	委員	村本 龍一	○
委員	大内 さつき	○	委員	今 光江	×	委員	森田 瞳	○
委員	岡山 拓	×	委員	笹谷 清一	○	委員	八木沼 英晃	×

※会長・副会長を除き、あいうえお順

企画経済部企画課 ～ 宇野課長
 厚田支所 ～ 東支所長、吉田市民福祉課長(併 厚田生涯学習課長)
 地域おこし協力隊 ～ 奥本隊員
 集落支援員 ～ 八木沼支援員
 事務局(地域振興課) ～ 高田課長、寺尾主査、渡部主査

【傍聴者】 2名

- 【次第】
1. 開会
 2. 会長挨拶
 3. 情報交換会(リラックスタイム)
 4. 協議事項
 - (1) 第9期厚田区地域協議会の運営について(継続協議10回目)
 5. 報告事項
 - (1) 厚田区地域おこし協力隊について
 6. その他
 7. 閉会

1. 開会

開会前に事務局（高田地域振興課長）より、岡山委員、今委員、角野委員、平賀委員、八木沼委員の5名の欠席報告と、併せて渡邊会長より本日の協議会へ厚田区地域おこし協力隊員及び厚田区集落支援員の参加を求め参加していることを報告し、令和4年度第5回厚田区地域協議会を開会した。

2. 会長挨拶

渡邊会長より、委員の皆様へ本日参加いただいたお礼と、協議事項の中で忌憚のないご意見をお願いし挨拶に変えた。

3. 情報交換会（リラックスタイム）

奥本隊員より「あつた・もうらい広場に集まろう」について、渡邊会長より「灯籠流し」について、八木沼支援員より「就労型課題解決インターンプログラム」について、それぞれ情報提供を行った。

4. 協議事項

(1) 第9期厚田区地域協議会の運営について（継続協議10回目）

【渡邊会長】

それでは、協議事項に入りたいと思います。まずは前回の協議会の振り返りを少しさせていただきたいと思います。

「子ども・教育」をテーマにさせていただき、岡山委員から、厚田学園の特色ある取り組みについてお話をいただきました。話の中では義務教育学校ということで、学年ブロック制で取り組むことが出来、発達段階に応じた教育過程の実施や、中1ギャップの解消、また、学年ブロックの最上級生のリーダーの育成が出来るということでした。それから授業では、相互乗り入れ授業により、要するに小学校に中学校の先生が授業を行うということですが、教科の専門性を活かした授業の配置をしているとのことでした。また、厚田コミュニティ・スクールの取り組みについてもご説明がありました。義務教育学校の利点を活かしながら、厚田学園ならではの特色ある取り組みをされていると感じたところがあります。また、私が関わっております厚田コミュニティ・スクールでも、地域の方が関り、子供たちの為に「何か出来ないか」そんな思いで参加されていると思いますが、これからもっと地域の方々に関わっていただけるような取り組みを考えて、子供たちの応援団を増やして、厚田学園を盛り上げていければと思っております。

前回、地域の宝であります子供たちに、地域の人たちがどのような活動を通して関わることが出来るのか、また、厚田ならではの取り組みやアイデア、「地域としてどんな風に関われるのか」「どんなことを子供たちにしてあげられるのか、するべきか」について、委員の皆様からの意見について、事務局で取りまとめておりますので、説明をお願いします。

【事務局（渡部主査）】

事務局の渡部でございます。私から資料1についてご説明させていただきます。前回の地域協議会の中で皆様からいただきました、地域として子どもたちに「どんな風に関われるのか」「どんなことをしてあげられるか、するべきか」についての皆様からの意見を資料1-2に記載しており、その意見をまとめたものが資料1になります。

それでは、資料1をご覧ください。まず、「関われること」の意見については、「大学生との交流」「オンライン学習塾や部活動のサポート」「自分が出来ることはお手伝いしたい」などの意見がありました。次に、「してあげたいこと」については、「子供たちの願いを叶えてあげる取り組み」、例えば、自発的な企画や模擬選挙、1日町長など、また、「ホームステイ、山村留学」などの意見がありました。次に、「するべきこと」と書いてありますが、「してほしいこと」だと思いますが、「一次産業との関り」「農作業体験」「船から見る厚田」など、また、「少人数が強みとなる取り組み」「親子で厚田学園に行けるイベント」「泥臭い人間関係ができるような体験」などの意見がありました。また、「その他」の意見になりますが、「コロナ禍でイベントが減っており、復活出来るのか不安」「子供と地域との関わりが薄くなってきている」「子供から教えてもらうこともある」「子どもたちが制作した朝市の看板など、子供たちも地域に貢献している」

などの意見がありました。

いただきました意見からオレンジ色の四角枠ですが、思い出を積み重ねることによって、「厚田愛」「郷土愛」を育むことができるのかなど、皆様の意見を聞いて思っているところであり、子どもたちの「思い出づくりができる地域になること」と、まとめさせていただきました。私からは以上です。

【 渡邊会長 】

ありがとうございます。本当にたくさんのすばらしい意見をいただきましたが、皆様の意見を見ますと、自分の子供の頃と重ねながら話をされていたのかなど感じております。自分が子供の頃体験したい思い出は、大人になっても心に残るものだと、私自身もそう思っておりますので、今の子供たちにたくさんの体験をさせて、たくさん思い出をつくるのが、先ほど事務局からのお話にありましたが、「厚田愛」「郷土愛」を育むことが出来、高校や大学に一度は外に出て行くかもしれませんが、そのあと、小さいころ体験した厚田の良さを思い出して戻って来てくれるのではないかなど感じております。そのために今、子供たちのために思い出作りができる地域になれるように、私たち自身が何か出来ればと思っておりますし、もちろん地域協議会としても厚田学園や、厚田コミュニティ・スクールと連携して、委員からの意見がありました。子供たちの願いを叶えて上げられるような取り組みなど、子供たちと話す機会も作つたらいいのかなど思っております。本当はこの地域協議会とかに、子供たちの代表が参加して、「こんな厚田になったらうれしい」とか、「こんな風になって欲しい」とか、一緒にお話できるような機会があればいいなど改めて思っております。

さて、第9期のテーマ・方向性を探るということで、「移住・定住」「情報発信」、そして、「教育・子ども」の三つのテーマについて、昨年の11月開催の第8回の協議会から、先月の第4回の協議会の中で協議を重ねてまいりました。これまで皆様より多数のご意見をいただきましたが、この三つのテーマの中から、第9期のテーマに絞り込み、そのテーマを具体的な取り組みへと、今後協議していくこととしていたわけですが、これまでの三つのテーマについて整理しておりますので、事務局より説明をお願いします。

【 事務局（渡部主査）】

事務局の渡部でございます。資料2について、ご説明させていただきます。第9期のこれまでに、整理をした資料になりますが、まず、赤色の枠は「近説」に関わるもの、緑色の枠は「遠来」に関わるものとして、整理しております。これまでの協議会としましては、令和3年度の第8回目の協議会の中で、協議会としてのテーマ運営に関する意見として、協議テーマをみんなで考えるところからスタートし、その際に出された意見をまとめたものが、黒枠になります。その中から、「情報発信」「子どもに関すること」「移住・定住」の3つのテーマに絞り込み、前回の協議会まで協議を行ってきたところです。

それでは、テーマごとに協議した内容について、ご説明します。「移住・定住」のテーマですが、緑枠の「遠来」に関わる意見としては、居住地の確保、空き家の解消、仕事の確保が必要であり、点線囲みになりますが、移住者を支援する助成制度や、お試しできる住居があればなどの意見がありました。また、地域で後継者がいないなど、地域おこし協力隊制度を活用できないのかなどの意見もありました。赤枠の「近説」に関わる意見としては、高齢者や学生の交通の課題、また、地域の魅力がなければ、厚田を選んでくれないのではなど、漁師と農家の連携や協力、子どもと地域の関わりなど、地域の一体感、まとまりある地域になる必要があるのではとの意見がありました。また、黄色枠になりますが、いきなり移住・定住となるとハードルが高いので、まずは、イベントなどに参加していただき、厚田の良さをしっけていただけるような関係人口づくりから始めるのもいいのではとの意見もありました。右側の※の助成制度の創設ですが、子どもへの支援など、例えば、給食費や保育料の無料などあれば、近説の部分では、今住んでいる方には、子育て環境の充実が図られ、遠来の部分では、移住定住を考えている人には、移住へのきっかけ、厚田を選んでいただける動機付けになるのかなど思っております。二つ目の※の交通の課題解決ですが、近説の部分では、今住んでいる方の日常生活の充実が図られ、遠来の部分では、高齢な方でも移住の候補地となるのではと思っております。この件については、地域交通サービス検討委員会で協議を進めているところですが、移住・定住を考えた際には、近説と遠来の両方を良くしていかなければ、北海道の移住者は大変人気があると聞いてますが、その中で厚田を選んでいただけるよう

な地域の魅力が必要なのかなと思います。黒枠になりますが、現在、空き家の調査だったり、お試し住宅の検討だったり、また、関係人口づくりについては、2名の協力隊員がいろいろ動いておりますので、地域協議会としては、その活動を見守り・サポートしていくことで整理をされていたと思います。

②の「情報発信」ですが、緑枠の遠来の部分になりますが、発信する情報として、仕事や住宅などの衣食住に関することや、どんな生活ができるのか、ニーズにあった情報、いいことばかりの情報ではなく、不便なところに関する情報、また、厚田学園の情報など、意見がありました。また、外への情報は大事だが、区内の人向けの情報も必要ではとの意見もありました。右側の黒枠になりますが、移住者向けの情報発信として、出せるような情報が少ないので、①になりますが、観光を含めた厚田の魅力から情報発信していくこととし、厚田ファンを増やし、関係人口づくりから始め、地域の受け入れ態勢など、移住者へのアプローチが出来るような情報が整った段階で、移住定住の促進に繋がる情報発信へと更新をしていくことで整理されていたと思います。

最後のテーマとなります③の「子どもと教育」では、先ほど資料1でご説明させていただきましたが、子どもたちの思い出作りが出来る地域をつくること、すなわちたくさんの方の方に関わっていただくことが重要であり、黒枠になりますが、厚田学園と地域の関りについては、厚田コミュニティ・スクールが、学校と地域を繋ぐ役目として、いろいろな事業を展開しているところであり、地域協議会としてはその活動をサポート、応援団の一人として関わっていくことで整理されていたと思います。

私から、第9期の地域協議会のこれまでにについて、ご説明させていただきました。以上です。

【 渡邊会長 】

ありがとうございます。只今事務局からこれまでの第9期の地域協議会についての整理をしていただきました。説明のありましたとおり第8回の協議会の中で、第9期の協議テーマを決めるため、これまで3つのテーマごとに協議を進めてきました。この3つのテーマから一つに絞り込み、第9期の協議テーマとして、これから具体的な取り組みへとなるわけですが、先ほど事務局より説明がありましたとおり、協力隊や、厚田コミュニティ・スクールの取り組みなど、地域協議会としては見守りサポート、また、地域の一員として関わっていくことで、整理をさせていただいたところです。これまでの皆様の意見から「関わる」「集まる」、そして、「支え合い」「助け合い」が、どのテーマにも共通するキーワードだったのかなと感じております。なかなか一人では何もできませんし、一人では支え合うことができません。人が集まり関わることで、そこで、人と人との交流が生まれ、新たな信頼関係も生まれ、助け合いや支え合いに繋がっていくものではないかと思っております。これがまさに、住民同士が共に支え合える仕組み「カンパニー構想」のかなど、改めて実感しているところです。

そこでこれからの協議テーマとしては、「関わる」「支え合い」の2つをテーマにして、いつまでも子供から高齢者まで、楽しく暮らせるような地域を目指して、協議を進めていけたらと思っております。この「関わる」「支え合い」をテーマにして進めることでよろしいでしょうか。

【 全委員 】

特に質問、意見なく、了承。

【 渡邊会長 】

ありがとうございます。それではこの2つをテーマに、次回から協議を進めさせていただきます。ここで事務局よりお願いします。

【 事務局（高田課長） 】

事務局の高田です。これまで10回にわたり協議テーマについて議論をいただき、たくさんのご意見等いただきました。只今二つの「関わる」「支え合い」を協議テーマとすることで確認をしていただきましたので、今後の取り組みについて、ご説明をさせていただきます。

まず、具体的な取り組みの一つといたしまして、4月より厚田カンパニー構想の具現化に向け集落支援員を導入し

ており、今現在ですが地域を点検しながら地域課題の拾い上げを進めているところですが、地域協議会の中で集落支援員が拾い上げた情報を共有させていただき、御意見やアイデアなどをいただき、集落支援員とともに「近説」の課題解決に取り組んでいけたらと考えております。また、これまでの協議の中で、具体的な意見などが多数あったかと思っております。その具体的な意見などについては、事務局で再度整理をさせていただきまして、今後の協議会の中で、協議をしていければと考えております。私からは以上です。

【 渡邊会長 】

ありがとうございます。事務局から今後の進め方についての説明だったと思います。次回からそのように進めさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

【 全委員 】

了承。

【 渡邊会長 】

ありがとうございます。

それでは、本日の協議事項については、これで終わりたいと思います。

5. 報告事項

(1) 厚田区地域おこし協力隊について

事務局（寺尾主査）より報告

- ・地域おこし協力隊の応募者1名の面接を行ったが、採用には至らなかった旨報告し、引き続き募集を継続している旨併せて報告。
- ・来年度の募集に向け、その方向性や内容について、協議会委員や地域の方々と組織する検討委員会での協議を進め、協議内容等については、協議会へ報告する旨報告。

6. その他

全体を通して他に委員から質問等無く、次回の日程を9月28日（水）18時から望来コミュニティセンターで開催することです承。

7. 閉会

18時45分に閉会。

令和4年10月14日 議事録確定

石狩市厚田区地域協議会
会長 渡邊 教 円